

補正予算特別委員会民生福祉分科会会議記録

1. 日 時	平成29年12月 8日
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	恒田正美、森本富夫、大西基雄、向井千尋、吉田知代、渡辺拓道
4. 会議に付した事件	<p>議案第86号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第8号）</p> <p>議案第89号 平成29年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）</p> <p>議案第90号 平成29年度篠山市介護保険特別会計補正予算（第3号）</p>
5. 議事の経過	<p>9：29 開会</p> <p>恒田座長 挨拶</p> <p>（開会）</p> <p>日程第1、議案第86号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第8号）</p> <p>消防本部</p> <p>■消防本部より補正予算書に基づき説明（管理課）</p> <p style="text-align: center;">＜主な意見＞</p> <p>森本副座長 常備消防費に関し、若い消防職員の早期退職者が2年続いて出ているが、要因として何が考えられるのか。</p> <p>消防本部 2名とも大阪で生まれ育った都市部の出身者であり、私生活において、大阪の友人や同級生と出会う際に交通の面等、不便を感じるが多いため、地元の大阪へ戻り、就職したい気持ちが強くなったと聞いている。</p> <p>森本副座長 市の職員には本市に住所を置いて欲しいと考える中、人口増という観点からもしっかりと根づくよう働きかけられたい。</p> <p>恒田座長 現在の署員の人数と来年度の人数はいくらか。</p>

消防本部 現在65名であり、今年度2名が定年退職し、1名が早期退職するが、平成30年度4月に3名採用することから65名体制である。

保健福祉部

■保健福祉部より、補正予算書に基づき説明（福祉総務課）

＜主な意見＞

大西委員 児童福祉総務費に関し、おとわ園跡地関連事業について、工事請負費の減額内容について説明されたい。

保健福祉部 トイレ改修費の予算額約611万円に対し実績は約600万円であり、エアコン設置費の予算額約163万円に対し実績は約96万円であった。

向井委員 利用状況及び利用者の声について、把握している範囲で説明願いたい。

保健福祉部 1日の平均利用者はおよそ20名であり、親子でいうと8組程度になる。カメラ教室やヨガ教室に加え、神戸大学と連携して取り組んでいる講座も好評を得ている。

向井委員 保健衛生総務費に関し、看護師等修学資金貸与事業について、利用者が少ない要因は何か。

保健福祉部 篠山鳳鳴高校における看護学校への進学希望者が10名、篠山産業高校の進学希望者が2名あったが、利用者は1名であった。

向井委員 市内で働くことが障壁になっているのではないか。

保健福祉部 そうした方も一定いる。

向井委員 来年度に向けて改善していく必要があるのではないか。

保健福祉部 来年度に向けては、看護師等のみでなく、理学療法士などへの支援も検討していきたい。

渡辺委員 市内高校生の看護学校へ実際に進学した数はどの程度か。

保健福祉部 実際に進学した数は把握していない。

渡辺委員 ささやま医療センターにおいて、看護師などの労働力が不足している状況ではないのか。

保健福祉部 現状、看護師は不足していないが、入れ替わりが大きい状況がある。この中で、地元出身者の定着率は高く、ささやま医療センターとしては、地元出身者の採用を望んでいる。

渡辺委員 様々な奨学金制度がある中、当事業の条件は有利と呼べる内容ではないのか。

保健福祉部 篠山医療センターなど市内の病院で働く場合は、貸与から給付になることから経済的条件としては、非常に有利なものといえる。卒業後、市内で

勤務することに対する影響があるのではと考える。

渡辺委員 当事業の趣旨としては、ささやま医療センターにおける人材不足の解決を図るものでもある。そうした課題が解消されつつあるのであれば、事業の在り方を考え直す必要があると考える。

保健福祉部 そうした点も含めて今後検討していきたいと考える。

日程第2、議案第89号 平成29年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

■保健福祉部より、補正予算書に基づき説明（医療保険課）

<主な意見>

大西委員 財政調整交付金に関し、特別調整交付金について、システム改修に係る補助金とのことであるが、改修内容等の詳細を説明されたい。

保健福祉部 国保の財政運営は平成30年度に広域化されることになっており、現在市で保有している各種情報を県に提供する際に、置換するシステムである。

大西委員 広域化に係るシステム改修は他にあるのか。

保健福祉部 広域化に係る改修は現在のところ計上しているもののみであるが、他に制度変更等が発生した場合は新たに対応することになると考える。

日程第1、議案第86号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第8号）

■保健福祉部より、補正予算書に基づき説明（医療保険課）

<主な意見>

向井委員 高齢重度心身障害者特別医療費助成事業について、増加傾向にある要因は何か。

保健福祉部 入院の有無が医療費助成額に大きく影響する。

向井委員 今後、医療費を抑えるための対策は。

保健福祉部 国民健康保険データヘルス計画に基づく健康保持のための各種取り組みを推進していくことで医療費を抑えていきたい。

吉田委員 母子福祉医療費に関し、母子家庭等医療費給付事業の増額について、要因は何と考えられるか。

保健福祉部 進学する子どもが多いことが要因と考えられる。

吉田委員 近年の推移状況は。

保健福祉部 これまでも多少の増減はあったものの予算内には収まっていたが、今年

度は、特に増額幅が大きくなっている。

■保健福祉部より、補正予算書に基づき説明（地域福祉課）

<主な意見>

向井委員 老人福祉費に関し、老人保護措置事業について、約 630 万円の増額になっている要因は何か。

保健福祉部 介護を必要とするほどではないが社会生活を営む能力が十分でない方や、経済的支援を必要とする方を養護老人ホームに入所処置している。今回当初見込みと比較し、措置者が増えたこと、また、現在措置に向けた相談を受けているものが 1 名あること、12 月補正後に措置が必要になった場合に備え 1 名の枠を計上している。

向井委員 社会生活を営めないとは具体的にはどのような状況なのか。

保健福祉部 金銭管理能力が充分でない場合が多く、ひとりで生活を維持していくことが困難な事例もあるが、自治会の付き合い等の地域生活に支障をきたしている状況ではない。

向井委員 権利擁護に係る制度で対応することはできないのか。

保健福祉部 権利擁護に係る支援については、重大な状況になってから関わる事例が多いのが実態としてある。後見人より前の補佐人等の段階で後見人制度を早期に活用していくことが必要であり、行政として制度を正しくしっかりと周知していく必要があると認識している。そうした中で、早期に権利擁護支援として関わっていただけるように取り組んでいきたい。

日程第 3、議案第 90 号 平成 29 年度篠山市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）

■保健福祉部より、補正予算書に基づき説明（地域福祉課）

<主な意見>

向井委員 法改正による補正予算計上とのことであるが、具体的にどのように変わるのか。

保健福祉部 マイナンバーの標準化レイアウトの変更や介護保険の基幹システムに係るものとして、介護報酬改定、要介護認定に係る有効期間の見直し、介護認定審査の簡素化等がある。平成 30 年から居宅介護支援事業を市が指導監査することになるための改修も含まれている。

日程第 1、議案第 86 号 平成 29 年度篠山市一般会計補正予算（第 8 号）

市民生活部

■市民生活部より、補正予算書に基づき説明（市民衛生課）

<主な意見>

森本副座長 公害対策費に関し、一般公害対策費について、入札はどのような状況であったのか。

市民生活部 5社による指名競争入札で、内3社が辞退、残り3社により入札を行った。予定価格としては、税込1,368,360円の中、660,960円で契約を行った。

■市民生活部より、補正予算書に基づき説明（市民安全課）

<主な意見>

渡辺委員 文書広報費に関し、防災行政無線費に係る工事期間中、受信できなくなる期間はどの程度か。

市民生活部 2、3日で受信できる見込みである。

渡辺委員 台風21号の影響によってカーブミラー等の損傷があったと考えるが、対応できているのか。

市民生活部 報告のあった箇所から随時、現計予算で対応している。

大西委員 非常備消防施設管理整備費に関し、移設箇所等を説明されたい。

市民生活部 上水道課の建設改良事業実施計画に基づき、布設から37年経過した住吉台への送水管のうち、中央図書館から東吹浄水場までの間2,735mの部分廃止に伴い網掛、吹新地内の消火栓4基を隣接する既設配水管に移設更新することになり、水道事業会計に繰り出ししようとするものである。

■市民生活部より、補正予算書に基づき説明（地域コミュニティ課）

<主な意見>

渡辺委員 文書広報費に関し、篠山市有線放送共同施設協会補助金事業について、有線放送協会の事業概要等を説明されたい。

市民生活部 現在、協会長は市長、副協会長は丹波ささやま農業協同組合代表理事組合長で構成されており、一日に朝、昼、夜の定時放送を3回、行政からのお知らせ、防災に係る緊急放送、自治会のお知らせ等の放送を行っている。

年間 2,400 円の会員負担金、篠山市と丹波ささやま農業協同組合の補助金及び企業の広告放送手数料などを資金として運営している。以前は、多紀有線放送共同施設協会であったが、現在は篠山市有線放送共同施設協会となっている。

渡辺委員 要綱など事業概要のわかる資料を提供されたい。

市民生活部 提供する。

森本副座長 篠山市有線放送共同施設協会の加入率ほどの程度か。

市民生活部 80.5%である。

森本副座長 防災機能を持つ有線放送であることから、可能な限り全戸加入が望ましいと考えるが、加入を促進するための取り組みは。

市民生活部 会費負担が生じる会員制であることから強制はできないが、転入など支所窓口に来られた際には、ご案内して加入を勧めている。

向井委員 新たに篠山市へ来られた市民の中にはご存じない方もいると考えることから、しっかりと周知されたい。

市民生活部 引き続き案内に取り組んでいく。

■意向確認

議案第 86 号 平成 29 年度篠山市一般会計補正予算（第 8 号）

— 修正・反対等の意見なし —

議案第 89 号 平成 29 年度篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）

— 修正・反対等の意見なし —

議案第 90 号 平成 29 年度篠山市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）

— 修正・反対等の意見なし —

（閉会）

森本副座長 挨拶